

志賀原子力発電所 1号機 第5回定期検査の開始について

平成11年4月27日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格出力 54万キロワット）は、平成 11年 4月 29日から発電を停止し、平成 11年 8月上旬までの予定で第 5回定期検査を実施します。

この検査は、電気事業法に基づいて年 1回実施するもので、原子炉本体、原子炉冷却系統設備、原子炉格納施設等の点検を実施する他、全燃料 368体のうち 100体（予定）を新燃料に取り替えます。

以 上

1 . 定期検査のための期間

平成 1 1 年 4 月 2 9 日から平成 1 1 年 8 月上旬まで

- ・ 発電停止 : 平成 1 1 年 4 月 2 9 日
- ・ 発電開始 : 平成 1 1 年 7 月中旬
- ・ 総合負荷性能検査 : 平成 1 1 年 8 月上旬

2 . 定期検査を実施する主な設備

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タ - ビン
- (10) 電気設備

3 . 定期検査期間を利用して実施する主な工事等

(1) 出力領域計測装置検出器取替

計測制御系統設備の核計測装置のうち出力領域計測装置の検出器集合体（全数 2 0 体、検出器個数 8 0 個）6 体を取り替え、性能維持を図ります。

(2) 制御棒駆動機構取替

制御棒駆動機構 8 9 体のうち分解点検を行う 1 3 体について、同一設計の予備品と取り替え、点検作業の効率化を図ります。

(3) 燃料の一部取替

原子炉内の全燃料（368体）のうち、100体（予定）を新燃料に取り替えます。

(4) 原子炉冷却材再循環ポンプ部品の改良

再循環ポンプ（B）の分解点検にあわせて、ポンプの一部の部品（ケ-シングカバ-等）を最新技術を取り入れた改良品に取替えます。

(5) アクシデント・マネジメント対策

アクシデント・マネジメント対策のうち、次のものを実施します。

a. 原子炉停止機能の強化

現状のスクラム（制御棒の緊急挿入）機能のバックアップとして、新たに設ける信号系により、原子炉冷却材再循環ポンプを停止し原子炉出力を急減させるとともに、同信号により作動する制御棒挿入回路を追加する。

b. 原子炉および格納容器への注水機能の強化

非常用炉心冷却系（ECCS）等のバックアップとして、復水補給水系および消火系からの注水を可能とする機能を追加する。また、原子炉内が高圧の場合でも原子炉を自動的に減圧し、低圧のECCSポンプからの注水を促進する機能を追加する。

以上